

# 試験成績報告書

## D7 泡タイプのシロアリに対する殺虫効果 (直撃噴霧試験)

2021年11月9日

住化テクノサービス株式会社  
応用生物部 家庭防疫薬チーム  
チームリーダー 兼田 久史



D7 泡タイプのシロアリに対する殺虫効果  
(直撃噴霧試験)

委託元：D7 ジャパン株式会社

試験機関：住化テクノサービス株式会社 応用生物部 家庭防疫薬チーム

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 4 丁目 2 番 1 号

TEL:(0797)74-2090 FAX:(0797)74-2095

試験番号：E21-026-2

試験担当：小山 翔子、犬丸 章博、杉本 周作

試験期間：2021 年 10 月 28 日～2021 年 10 月 29 日

I. 試験目的(依頼事項)

D7 泡タイプのイエシロアリ職蟻に対する殺虫効果を評価する。

II. 材料および方法

1. 供試検体

委託元より提供された D7 泡タイプを検体とした。

2. 供試虫(図 1)

イエシロアリ *Coptotermes formosanus* 職蟻

※住化テクノサービス株式会社累代飼育系統



図 1. イエシロアリ職蟻

3. 試験方法

イエシロアリ職蟻 10 頭を 200B ポリカップに入れ、直径 80cm の枠内に 3 個(3 反復分)設置した(図 2)。検体を噴霧装置(図 3)に入れ、枠内に約 15 秒間噴霧処理した(図 4、委託元にて実施)。噴霧から 10 分後にすべての供試虫を新しいポリカップに回収し、無処理の供試

虫とともに室温約 25℃一定、16 時間明期 8 時間暗期条件下にて維持した。

噴霧処理から 10 分後(回収時)および 24 時間後に苦死虫数を記録し、3 反復の結果から以下の式により苦死虫率(%)を算出した。

$$\text{苦死虫率(\%)} = \text{平均苦死虫数} / \text{平均供試虫} \times 100$$

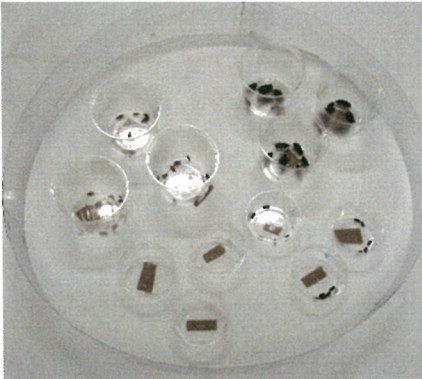


図 2. 枠内(直径 80 cm)に設置した供試虫



図 3. 噴霧装置(委託元にて用意)

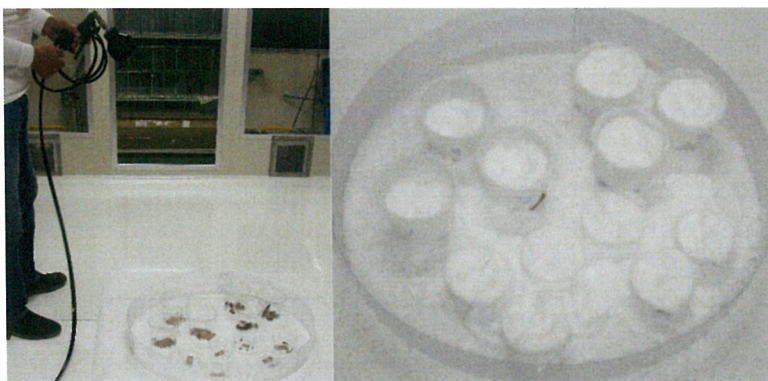


図 4. 試験状況。左:噴霧処理中、右:処理後の供試虫

### III. 結果

D7 泡タイプのイエシロアリ職蟻に対する殺虫効果を表 1 に示す。D7 泡タイプ噴霧処理後 10 分および 24 時間におけるイエシロアリ職蟻の苦死虫率は 100%であった。

表1. D7泡タイプのイエシロアリに対する殺虫効力

供試虫	処理区	反復	供試虫数	経過時間- 苦死虫数		苦死虫率(%)	
				10分	24時間	10分	24時間
イエシロアリ <i>C. formosanus</i> 職蟻	D7泡タイプ 処理区	1	10	10	10		
		2	10	10	10	100	100
		3	10	10	10		
	無処理区	1	10	0	0		
		2	10	0	0	0	0
		3	10	0	0		

試験日: 2021年10月28日

方法: カップに入れた供試虫に検体を噴霧処理し10分後に回収、25 °Cにて24時間後まで維持

苦死虫率(%) = 平均苦死虫数 / 平均供試虫数 × 100

以上